

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2021. 3. 12

No. 6 4 4

2021春闘交渉 会社の考え

3月11日、2021春闘交渉（会社の考え）を行いました。以下、報告します。

「会社」

今年度は、「JR貨物グループ中期経営計画2023」のもと、コーポレート・ガバナンスと安全を基盤に、時代に即した新しいサービスによるお客様への最適なソリューションの提供を通じて、「鉄道輸送を基軸とした総物流企業グループ」への進化を目指し、諸施策を推進してきました。

経営基盤の強化については、新技術・新規事業へ積極的にチャレンジしたほか、社員のやりがいにつながる新人事制度の定着を図るなど、より働きやすい職場づくりを目指してきました。

しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、社会経済活動が大きく制限され、また、度重なる自然災害の中、鉄道事業においては、大幅な減収を余儀なくされました。また、自然災害に伴う輸送障害については、社員の協力のもと代替輸送等により、収入の確保に努めてきましたが、3月10日時点、1月期計画に対して取扱収入が△約15億円と厳しい状況になっています。

以上、様々な状況を総合的に考えて、

「昇給額表に記載している、等級及び評価に応じた昇給は実施するものの、現時点、ベースアップについては実施できる状況にない」

というのが、本日の会社の考えであります。

組合・会社の状況が厳しいことは十分理解している。

この状況を少しでも回復しようと、組合員は日々、コロナウイルス感染症に感染するリスクと闘いながら安全安定輸送に努めている。これまでに経験したことのないこの窮地を打破していくためには、労使が一体となって取り組んでいかなければならず、そのためには安心して働ける環境づくりが必須である。

もし「ベースアップ0回答」となれば、また、長い暗黒の時代（19年間ベースアップ無し）に戻るのではないかと不安に陥る。会社の財産である人材が、この会社に見切りをつけ離れていけば、会社の描く将来像は達成できない。

本日の「会社の考え」には到底納得できず強く再考を求めたい。経営陣と再考し、回答日には誠意ある回答をお願いしたい。

会社・貴組合の主張は承った。主張を経営陣に伝えておく。

以上
